

社会資本総合整備計画(市街地整備)

まちづくりを支援する^{し え ん}骨格^{こ っ か く}道路^{ど う ろ}等^{と う}整備^{せ い び}

(第5回変更)

^{ひろしまし}
広島市

平成28年1月

(様式第7)

社会資本総合整備計画(市街地整備)

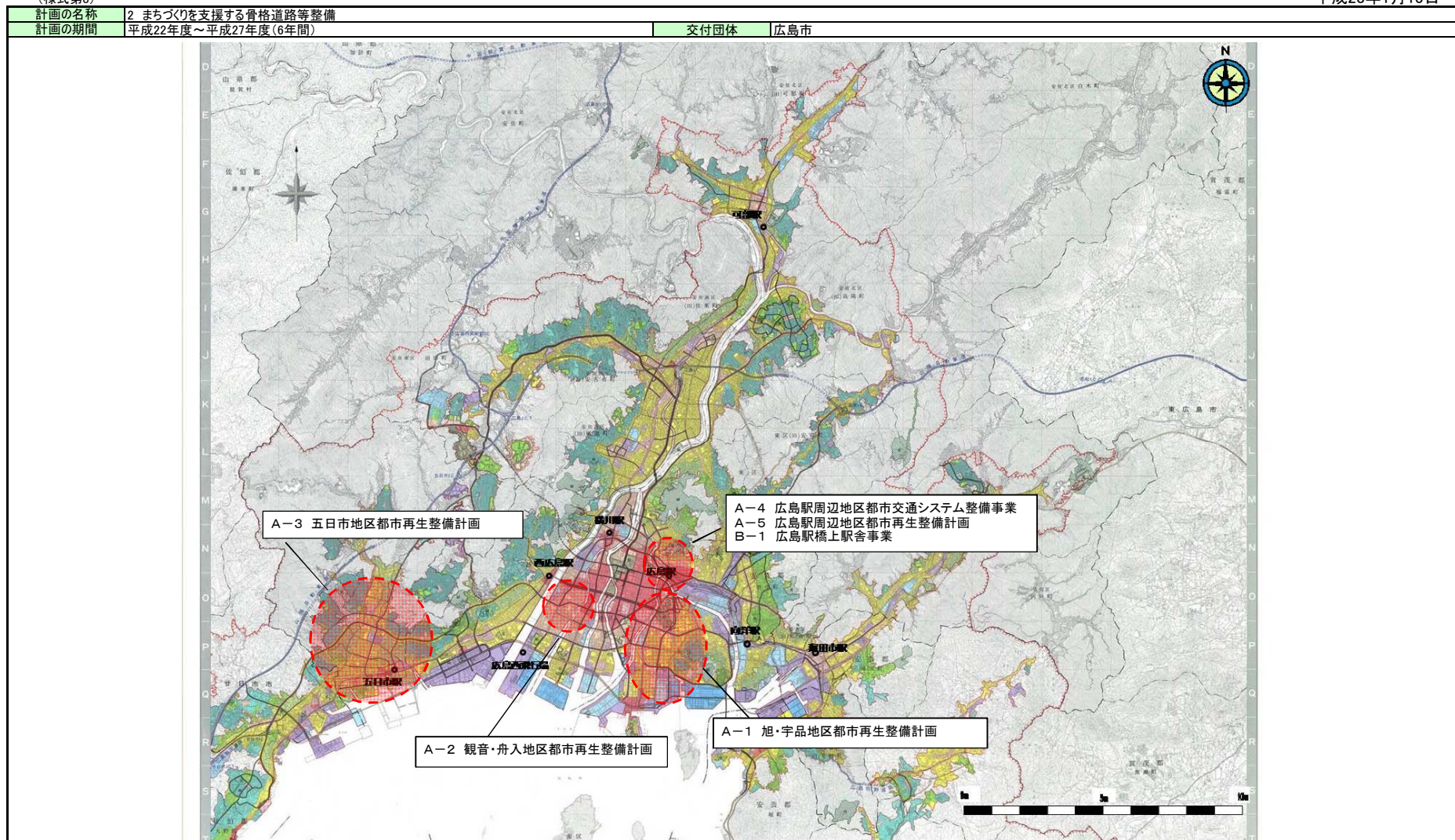
平成28年1月13日

計画の名称	2 まちづくりを支援する骨格道路等整備															
計画の期間	平成22年度～平成27年度(6年間)				交付団体		広島市									
骨格道路の整備を核としたまちづくりを目指している都市再生整備計画地区等において、関連する道路整備等を行い、暮らしやコミュニティに配慮した、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進する。																
計画の成果目標(定量的指標)																
・対象地区における都市計画道路等の概成整備率を増加させる。 ・広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「コミュニティ活動の活動実績率」を向上させる。																
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考			
対象地区における都市計画道路等の概成整備率(%) (対象地区における都市計画道路等の概成整備率)＝(都市計画道路及び歩行者通路の暫定整備を含む概成整備済み延長)／(計画延長) 実態調査の当該項目の全標本数に占める「参加している」と答えた票数の割合(%) (コミュニティ活動実績率)＝(「参加した」と答えた票数)／(実態調査の当該項目の全標本数)										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)				
										78.5%	86.0%	86.0%				
										46.9%	現況水準より向上	現況水準より向上				
全体事業費	合計 (A+B+C)	13,499 百万円	A	8,095 百万円	B	5,404 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)			0.0%				
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
2-A-1	都市再生	一般	広島市	直接	広島市	旭・宇品地区都市再生整備計画	道路等 430ha	広島市	H22	H23	H24	H25	H26	H27	589	別添1
2-A-2	都市再生	一般	広島市	直接	広島市	観音・舟入地区都市再生整備計画	道路等 230ha	広島市							295	別添2
2-A-3	都市再生	一般	広島市	直接	広島市	五日市地区都市再生整備計画	道路等 530ha	広島市							460	別添3
2-A-4	交通	一般	広島市	直接	広島市	広島駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路 L:180m W:15m	広島市							603	
2-A-5	都市再生	一般	広島市	直接	広島市	広島駅周辺地区都市再生整備計画	地域生活基盤施設 43ha	広島市							6,148	別添4
合計														8,095		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
2-B-1	鉄道	一般	広島市	直接	広島市	広島駅橋上駅舎事業	駅舎橋上化	広島市	H22	H23	H24	H25	H26	H27	5,404	
2-B-2																
合計														5,404		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
2-B-1	都市再生整備計画事業(2-A-5)と一体的に実施することにより、広島駅周辺地区(新都心成長点)の拠点機能を強化し、陸の玄関にふさわしい新たなにぎわい空間を創出するとともに、地区全体の回遊性が向上することが期待できる。															
2-B-2																
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
2-C-1									H22	H23	H24	H25	H26	H27		
2-C-2																
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
2-C-1																
2-C-2																

(様式第8)

社会資本総合整備計画(市街地整備) 参考図面

平成28年1月13日



(様式第8)

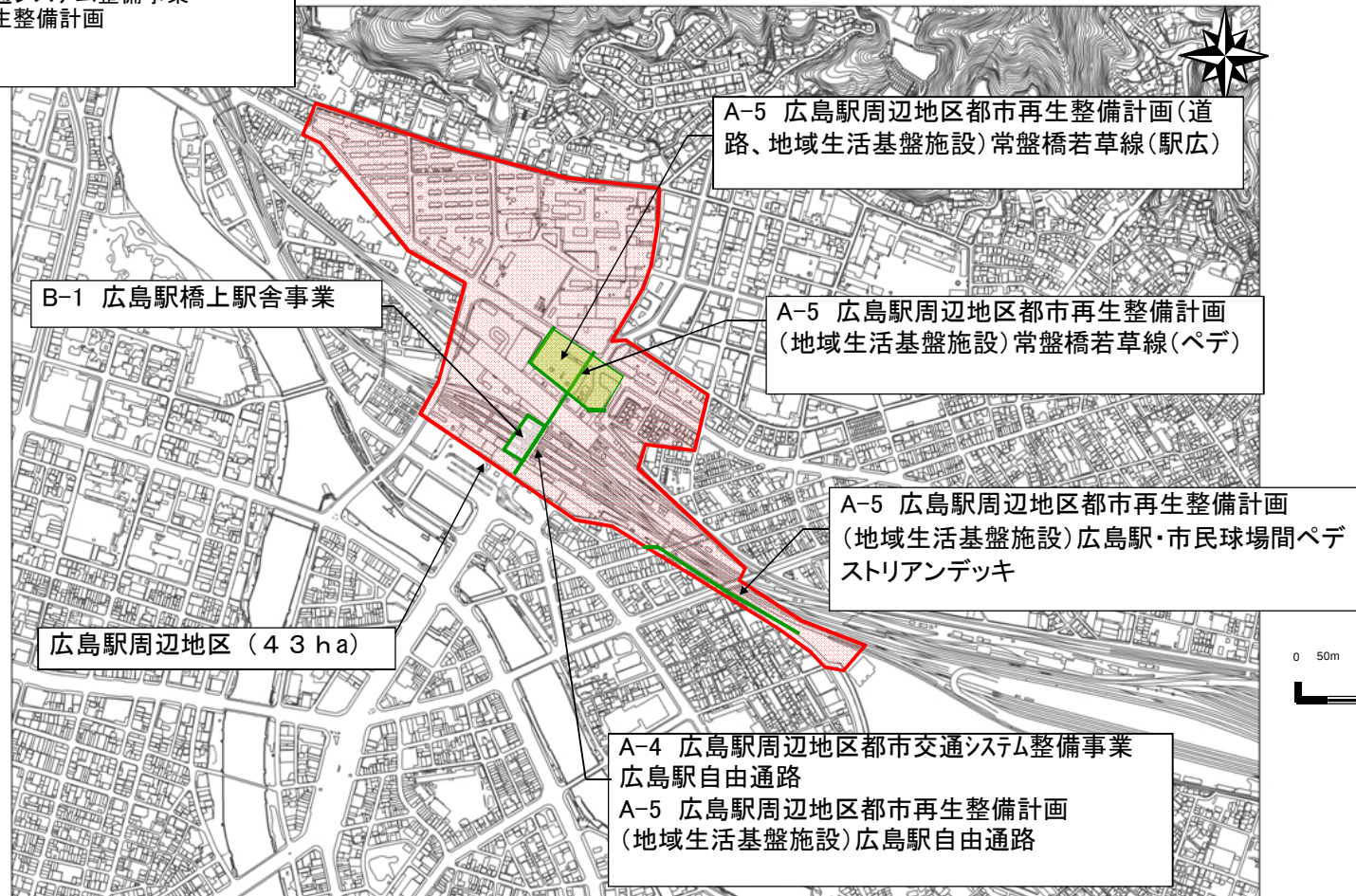
社会資本総合整備計画(市街地整備) 参考図面

平成28年1月13日

計画の名称 2 まちづくりを支援する骨格道路等整備
計画の期間 平成22年度～平成27年度(6年間)

交付団体 広島市

A-4広島駅周辺地区都市交通システム整備事業
A-5広島駅周辺地区都市再生整備計画
B-1広島駅橋上駅舎事業



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: まちづくりを支援する骨格道路等整備

都道府県名: 広島市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域の整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

都市再生整備計画(第3回変更)

ひろしまえきしゅうへん ち く
広島駅周辺地区

ひろしま ひろしま し
広島県 広島市

平成28年 1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	広島市	地区名	広島駅周辺地区	面積	43 ha
計画期間	平成23年度	～	平成27年度	交付期間	平成23年度	～	平成27年度

目標
広島駅周辺地区(新都心成長点)の拠点機能を強化し、陸の玄関にふさわしい新たな賑わい空間を創出する。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 広島駅周辺地区は、JR広島駅を中心とする1日当たり約14万人の乗降客を有する中四国最大の拠点駅を有する地区であり、路面電車や、市内・郊外・都市間バス・リムジンバスが乗り入れる交通結節機能も有している。新幹線口の若草地区においては、市街地再開発事業が完了し、二葉の里地区においては、二葉の里地区土地区画整理事業の着手等により、大規模な都市開発が進みつつある。広島駅自由通路等は、この二葉の里地区開発の推進に密接に関連する公共施設として整備することとしている。現在、広島駅の南口と新幹線口を結ぶ幅員4mの地下通路は、その経路が分かりにくく、交通機関相互の乗換に時間を要している。また、広島駅と広島市民球場を結ぶJR南側市道において、多くの入・退場者が集中する試合前後は、交通規制により歩行者専用道路とすることで、歩行者の安全確保を行っている。なお、「広島駅周辺地区」は、都市再生緊急整備地域に指定(第三次指定 平成15年7月)されている。
課題
当該地区は、広島市中心部の拠点として発展してきたが、利便性を兼ね備えた最適な歩行環境が整備されていないことから、広島陸の玄関としての拠点機能が発揮されておらず、広島駅周辺の開発地区相互の連携を図り、活性化を進めるには、鉄道により分断された南口と新幹線口の間に新たな人の流れを創出し、駅周辺地区全体の回遊性を向上させる必要がある。現在、広島駅の南口と新幹線口を結ぶ幅員4mの地下通路は、その経路が分かりにくく、交通機関相互の乗換に時間を要するなどの課題があり、「交通結節点としての機能強化」、「再開発の促進などによる新たな賑わい空間の創出」、「快適で魅力的な歩行者ネットワークの形成」に資する、広島駅自由通路や広島駅と新幹線口の開発地区とを結ぶペDESTリアンデッキの整備が必要である。また、広島駅と広島市民球場を結ぶJR南側市道において、交通規制を行うことなく、いつでも安全に快適に歩くことができる歩行者空間として、ペDESTリアンデッキの整備が必要である。
将来ビジョン(中長期)
◇広島市基本構想(平成21年10月) 都市像として「国際平和文化都市」を掲げ、広島アイデンティティの形成(広島の持つ「平和の求心力」を生かした都市づくり、「幸せ」と「まちの元気」の増進を目指した都市づくり、広島型「市民自治」を目指した都市づくり)を掲げている。 ◇第5次広島市基本計画(平成21年10月) 目標年次を平成32年(2020年)とし、広島アイデンティティの形成を主導する9つの重点施策(①核兵器廃絶と恒久平和の実現、②環境と人とのパートナーシップの構築、③安全・安心の確保と生活基盤の整備、④子どもの未来の創造、⑤保健・医療・福祉の充実、⑥パートナーシップに基づく新たなライフスタイルの創造、⑦ICT先端都市の実現、⑧持続可能な市場経済の創出、⑨千客万来の都市の実現))を定めており、その各論の1つで、「魅力ある都市空間の形成」を掲げており、再開発の推進等による多様な都市機能の集積と新たな都市空間の創出に取り組むこととしている。 ◇ひろしま都心ビジョン(平成17年2月、平成23年3月更新) 目標年次を平成42年(2030年)とし、「人を魅きつける広島都心づくり」を目標とし、魅力ある都心づくりとして5つの基本方向(①行きよい都心づくり、②歩きやすい都心づくり、③賑わい・交流する都心づくり、④居心地よい都心づくり、⑤住みよい都心づくり)を定め、また拡大都心核や新都心成長点を重点地区とした8つの地域特性別の取組方針を定めている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度		目標年度	
広島駅の1日平均乗車人員	人/日	広域拠点である広島駅における1日平均乗車人員	市内外からの来街者の傾向を定量的に把握するための指標。常盤橋若草線(ベデ)、鉄道関連施設の一部等が完成する平成27年度の乗車人員を基準年度の2%増を目標とする。	69,840	H21	71,236	H27
広島駅方面から広島市民球場までの歩行者割合	%	広島駅方面から広島市民球場まで徒歩で行く、歩行者の割合	広島市民球場周辺道路の快適性を把握するための指標。広島駅・市民球場間ペDESTリアンデッキの一部が完成する平成27年度の歩行者割合を5%増を目標とする。	38.7%	H21	43.7%	H27
都心における交通環境の満足度	%	都心の歩行環境等に満足している市民の割合	歩行者空間の拡充などによる歩行者等の快適性を把握するための指標。平成27年度に基準年度から5%増を目標とする。	41.8%	H21	46.8%	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
広島駅周辺地区(新都心成長点)の拠点機能を強化し、陸の玄関にふさわしい新たな賑わい空間を創出する。 ・地区の交通渋滞の改善に寄与する常盤橋若草線(駅広)を再整備する。 ・地区の利便性の向上に繋がる常盤橋若草線(ペデ)・広島駅自由通路を設置するとともに、常盤橋若草線(駅広)を再整備する。 ・地区の安全性・快適性の向上に繋がる広島駅・市民球場間のペDESTリアンデッキを設置する。		【基幹事業】 《道路》 常盤橋若草線(駅広) 《地域生活基盤施設》 常盤橋若草線(駅広) 常盤橋若草線(ペデ) 広島駅自由通路 広島駅・市民球場間ペDESTリアンデッキ 【提案事業】 【関連事業】 広島駅周辺地区都市交通システム整備事業 広島駅橋上駅事業
その他 ◇円滑な事業執行の環境(基幹事業の実現性) ・基幹事業である常盤橋若草線(駅広)、常盤橋若草線(ペデ)及び広島駅自由通路は、二葉の里地区の関連公共施設として一体的に整備を進めることとしており、いずれの事業もその熟度が高い。		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	6,148	交付限度額	2,766.6	国費率	0.45
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	6,148	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	2766.6		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		常盤橋若草線(駅広)	広島市	直	L=0.18km	H23	H28	H25	H27	120	62	62		62
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		常盤橋若草線(駅広)〔広場〕	広島市	直	A=1.16ha	H23	H28	H25	H27	1,617	1,408	1,408		1,408
地域生活基盤施設		常盤橋若草線(駅広)〔駐車場〕	広島市	直	A=0.17ha	H23	H28	H25	H27	272	236	236		59
地域生活基盤施設		常盤橋若草線(ベテ)	広島市	直	L=0.41km	H21	H27	H23	H27	3,376	3,376	3,376		3,376
地域生活基盤施設		広島駅・市民球場間ペDESTロリアンデッキ	広島市	直	L=0.32km	H22	H32	H23	H27	4,063	91	91		91
地域生活基盤施設		広島駅自由通路	広島市	直	L=0.18km	H22	H30	H24	H27	3,192	1,152	1,152		1,152
高質空間形成施設														
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
市街地再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										12,640	6,325	6,325	0	6,148

…A'

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園														
河川														
下水道														
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

…A''

基幹事業 総計 (①+②)

総計											6,325	6,325	0	6,148
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	---	-------

…A=A'+A''

(参考)関連事業						(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模		直轄	補助 ○	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
広島駅橋上駅事業	JR広島駅	広島市	国土交通省	3,400㎡						H24	H30	9,650
合計												9,650

都市再生整備計画の区域

広島駅周辺地区(広島県広島市)	面積	43 ha	区域	東区二葉の里一丁目、二丁目、三丁目、若草町 南区松原町、猿猴橋町、荒神町、東荒神町、西蟹屋二丁目、東駅町
-----------------	----	-------	----	---

